

「再製造心腔内超音波カテーテル V（日本ストライカー）」を 販売開始

～ サステイナブルな医療機器の浸透を目指す ～

日本ストライカー株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：水澤 聡）は、12月1日から「再製造心腔内超音波カテーテル V（日本ストライカー）」を発売しました。日本ストライカーとしては、国内 2 製品目の再製造単回使用医療機器（R-SUD）となります。

現在、世界的な原材料高騰や原材料不足の影響もあり、環境保全への社会的責任に関心が高まる中、R-SUD は、サステイナブルな医療機器として医療廃棄物の削減による環境保全への貢献や、医療機器に直接関連するコストおよび医療廃棄物の処理費用の削減など医療費の効率化への貢献も期待されています。

「再製造心腔内超音波カテーテル V（日本ストライカー）」は、先端部に超音波を送受信するトランスデューサを内蔵し、心臓等の構造及び血流の画像化を行うための医療機器です。日本ストライカーでは、2020年4月から国内初の R-SUD となる再製造ループ電極カテーテル（日本ストライカー）を発売しており本製品が加わることで心臓外科領域での R-SUD 浸透を足掛かりに、今後数年かけて他の領域への拡大も目指しています。

※再製造単回使用医療機器（R-SUD）とは

使用済みの単回使用医療機器（一回限り使用できるとされている医療機器。SUD）を医療機器製造販売業者がその責任のもとで適切に収集し、分解、洗浄、部品交換、再組立て、滅菌等の処理を行い、リバースエンジニアリングの技術を用いて、再び使用できるようにした医療機器です。欧米では、使用済み SUD の病院内での洗浄・滅菌、再使用による感染防止を目的に 2000 年以降、厳しい安全基準を定め、再製造が行われてきました。日本でもこうした流れを汲み、医療の安全性向上を目的に法整備が行われ、2020年に国内初の R-SUD が発売されました。

■日本ストライカー株式会社について

整形外科、外科、脳神経外科、脳血管内科、耳鼻咽喉科、口腔外科、救急医療等、様々な診療科目で革新的な製品とサービスを提供するストライカーコーポレーション（本社：米国ミシガン州）の日本法人です。ストライカーは世界をリードする医療機器企業の一つでありお客様である医療従事者の皆様とともに、世界 75 カ国を超える国々で、年間 1 億人以上の患者さんへの治療に貢献しています。詳しくは www.stryker.com/jp をご覧ください。

■本リリースに関するお問い合わせ先

日本ストライカー株式会社
コーポレートコミュニケーション・ブランディング本部
小林 直美
携帯：090-6725-0605
naomi.kobayashi@stryker.com

添付資料

■製品概要

販売名： 再製造心腔内超音波カテーテルV（日本ストライカー）
承認番号： 30400BZX00129000
承認日： 2022年6月7日
発売日： 2022年12月1日

■製品写真

